

地域における豊かな暮らし（Well-being）指標に関する 市民アンケート調査結果

令和5年2月実施

江別市企画政策部デジタル政策室



I 調査概要

1 調査目的

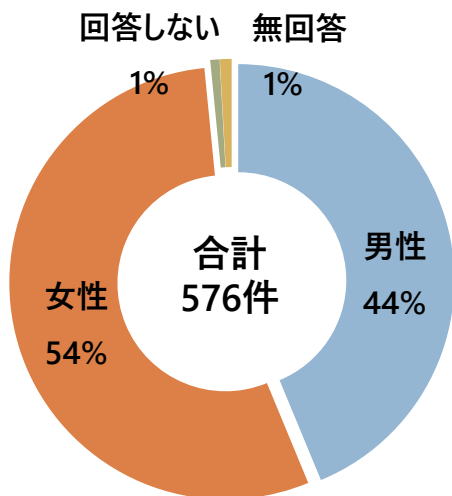
江別市民の多様な意識や行動を把握するとともに、「生涯健康プラットフォーム推進事業」の進行管理に用いる主観指標の初期値（現状値）を取得・現状分析するなど、今後の施策立案の基礎資料とし地域幸福度（Well-being）指標の活用を促進することを目的に調査を実施しました。

2 調査概要

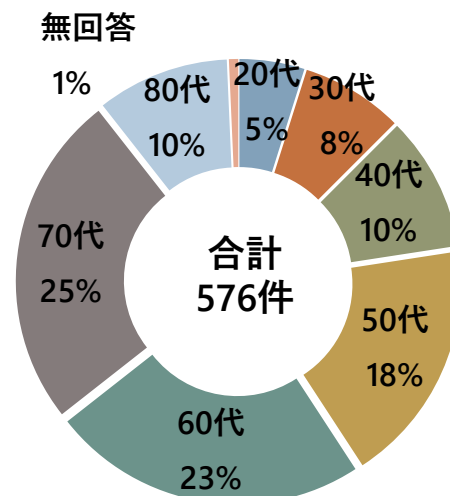
- (1) 調査対象 市民 1,500人(地区別、年代別に割り振り、無作為抽出)
- (2) 調査方法 無作為抽出した対象者の方に対し調査票を郵送(回答は郵送による)
- (3) 調査期間 令和5年2月7日(火)～ 令和5年2月27日(月)
- (4) 回答数 576件
- (5) 回収率 38.4%

II 回答者属性

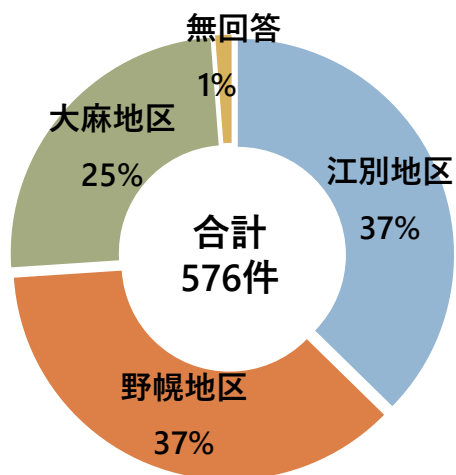
【Q1】 性別



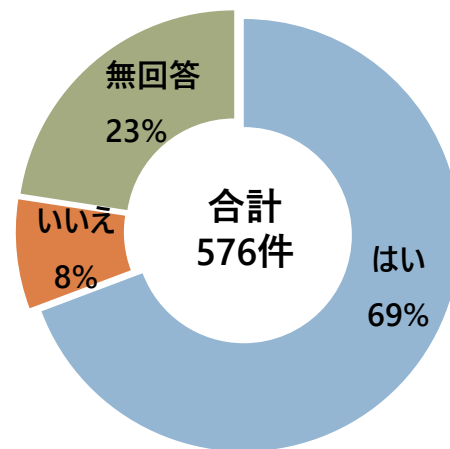
【Q2】 年代



【Q3】 地区別



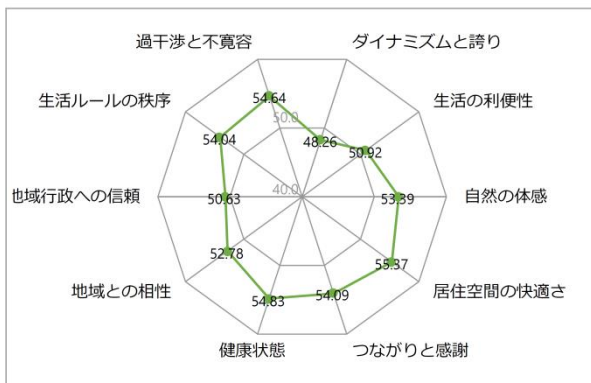
【Q4】 スマホを所有しているか



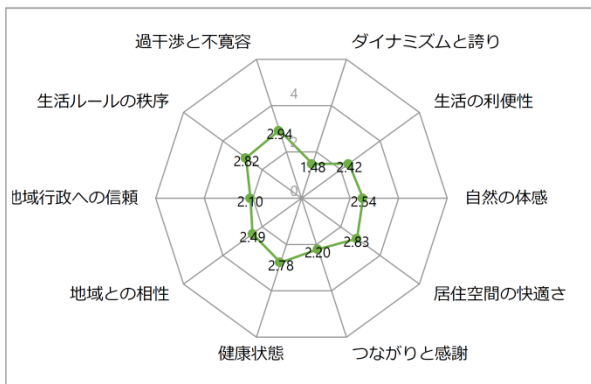
Ⅲ 地域生活のWell-being(個人因子)①

- 「地域生活のWell-being指標」は、慶応義塾大学前野隆司教授らが開発した評価指標です。
- 「地域生活のWell-being指標」は、地域における暮らしの中で感じる主観的幸福感に影響する普遍的な因子を網羅的に抽出したものです。

個人因子 アンケートの点数(偏差値化後)



個人因子 アンケートの点数 (実数)



	因子名称	定義
幸せ要因	ダイナミズムと誇り	地域の文化・芸術などが盛んで誇らしく感じる。また地域に賑わいや躍動感があり、出会いや挑戦・成長する機会がある状態
	生活の利便性	日々の生活基盤(商業・医療・教育・交通機関・公共施設など)が整っており、利用しやすく不便を感じていない状態
	自然の体感	地域では自然(海・山・里山・川・湖等)が身近に感じられ、四季折々に向き合うことに喜びがある。また空気や水などが清浄だと感じられている状態
	居住空間の快適さ	自身の暮らす住居について、快適で過ごしやすい満足できている状態
	つながりと感謝	近隣住民に感謝し、良好な関係が維持できている。気の合う仲間や助け合える知人がいる状態
	健康状態	自身は精神的にも身体的にも健康で、不安をあまり感じることなく、笑顔で過ごしている状態
	地域との相性	地域の街並みや風景に愛着を感じ、雰囲気自分が自分にとって心地よく感じられている状態
不幸せ要因	地域行政への信頼	行政施策へ賛同し、納得している。地域政治のリーダーや行政を信頼できている状態
	過干渉と不寛容	よそ者に不寛容で、変わった事をすると角が立つ。近隣住民と(自身にとって)程よい距離が保てず、干渉が煩わしく窮屈さを感じている状態
	生活ルールへの秩序	地域の生活ルール(ゴミ出しマナーや交通マナーなど)が守られず、騒音などに悩まされてイライラすることが多い状態

出典:LWC指標活用ガイドブック(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート)

Ⅲ 地域生活のWell-being(個人因子)②

■ 地域生活のWell-being指標に関する設問(全30問)

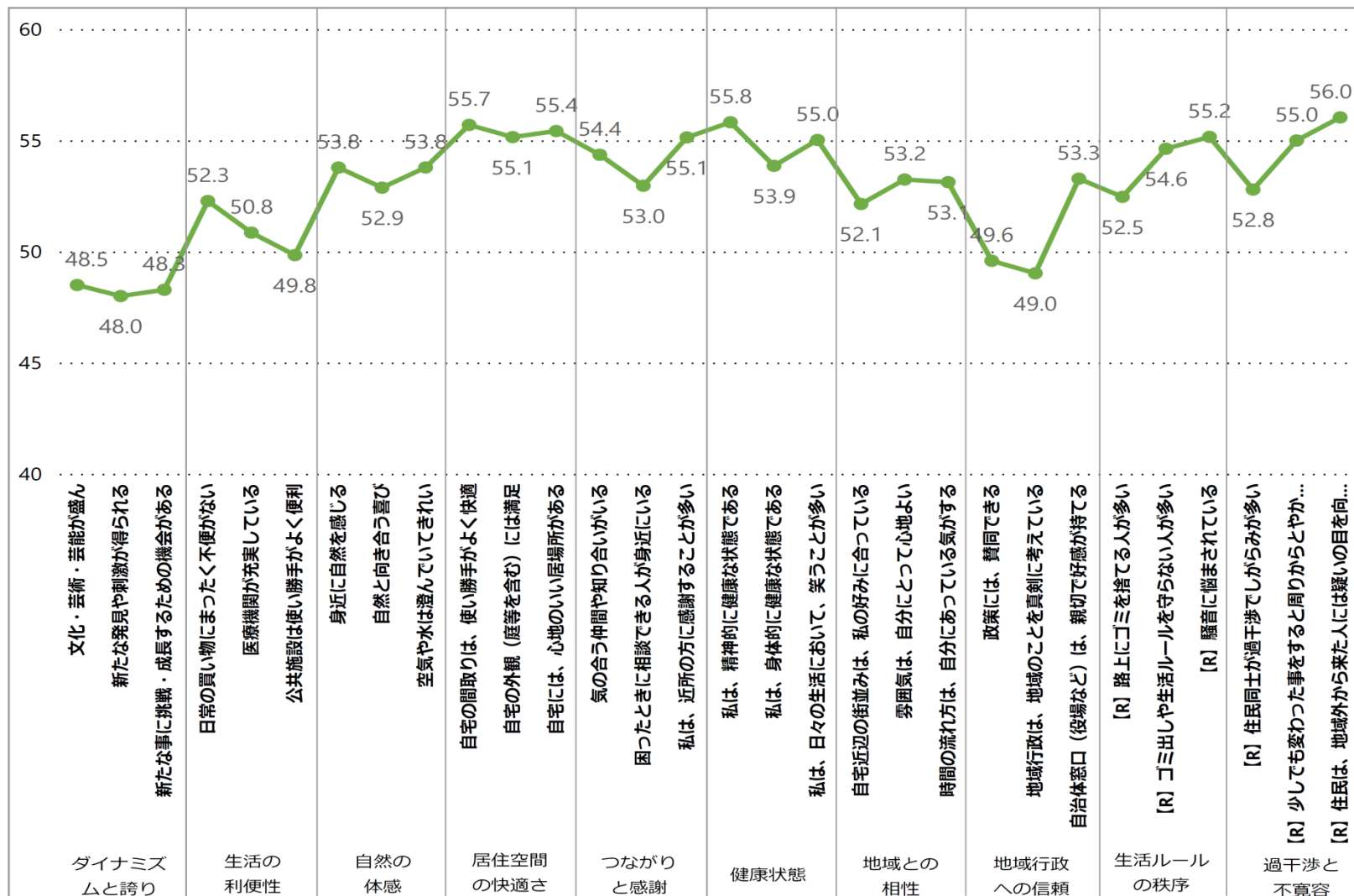
因子	設問	因子	設問
ダイナミズムと誇り	1 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	つながりと感謝	16 暮らしている地域には、気の合う仲間や知り合いがいる
	2 暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる		17 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる
	3 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある		18 私は、近所の方に感謝することが多い
生活の利便性	4 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	健康状態	19 私は、精神的に健康な状態である
	5 暮らしている地域は、医療機関が充実している		20 私は、身体的に健康な状態である
	6 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である		21 私は、日々の生活において、笑うことが多い
生活ルールの秩序	7 暮らしている地域は、路上にゴミを捨てる人が多い	過干渉と不寛容	22 暮らしている地域では、住民同士が過干渉でしがらみが多い
	8 暮らしている地域は、ゴミ出しや生活ルールを守らない人が多い		23 暮らしている地域では、少しでも変わった事をする则りからとやかか言われる
	9 自宅の近辺は、騒音に悩まされている		24 暮らしている地域の住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける
自然の体感	10 暮らしている地域では、身近に自然を感じるこたができる	地域との相性	25 自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている
	11 暮らしている地域には、自然と向き合う喜びがある		26 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
	12 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる		27 暮らしている地域の時間の流れ方は、自分にあっている気がする
居住空間の快適さ	13 自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である	地域行政への信頼	28 暮らしている地域の政策には、賛同できる
	14 自宅の外観(庭等を含む)には満足している		29 暮らしている地域行政は、地域のこたを真剣に考えていると思う
	15 自宅には、心地のいい居場所がある		30 暮らしている地域の自治体窓口(役場など)は、親切で好感が持てる

(選択肢: 4 = 非常にあてはまる、3 = ある程度あてはまる、2 = どちらとも言えない、1 = あまりあてはまらない、0 = 全くあてはまらない)

Ⅲ 地域生活のWell-being(個人因子)③

【Q5】 地域生活のWell-being指標(偏差値化後)

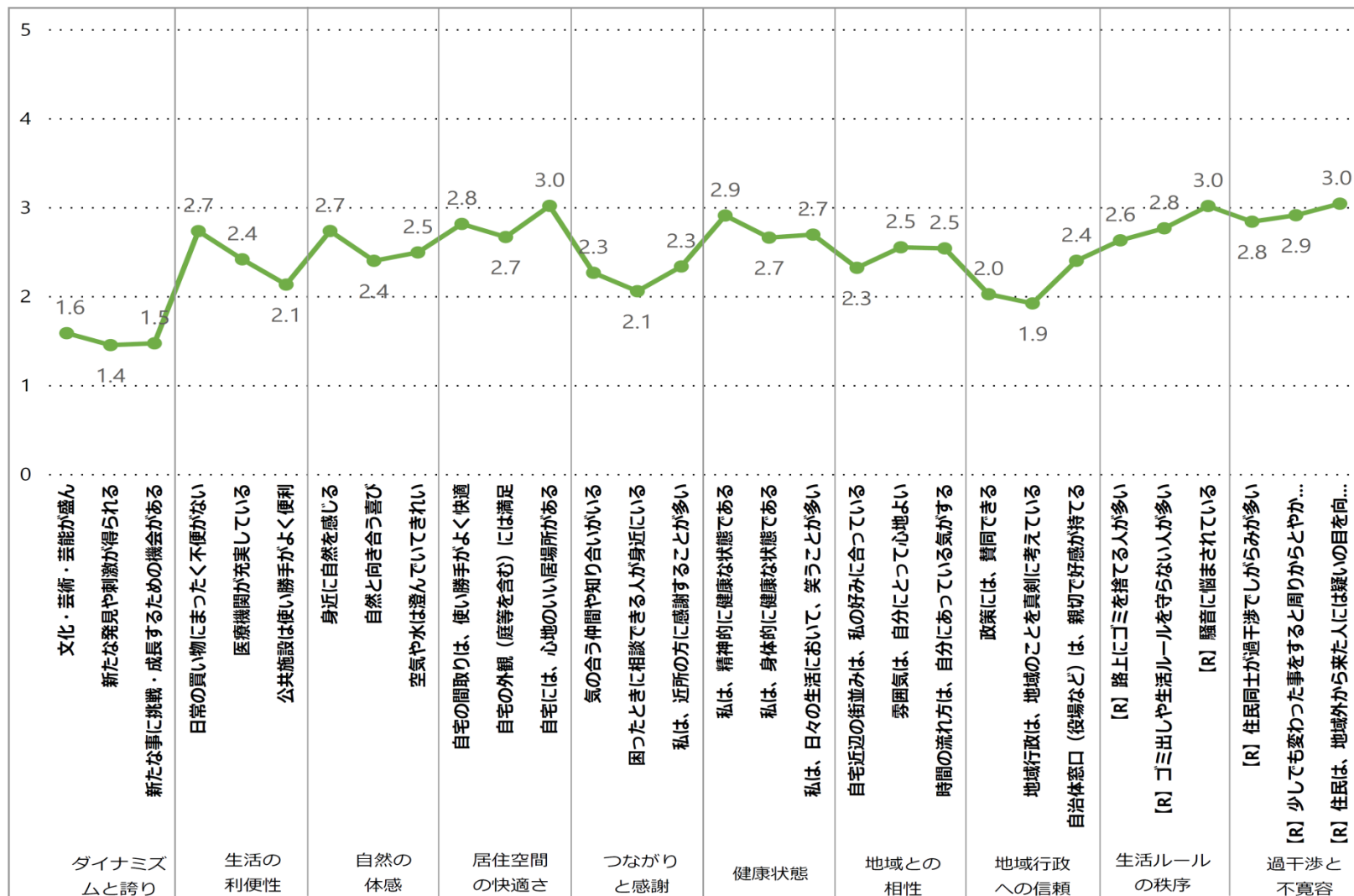
【設問数:全30問】



Ⅲ 地域生活のWell-being(個人因子)④

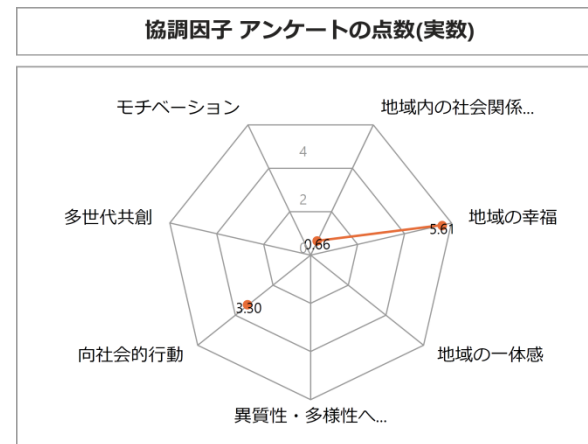
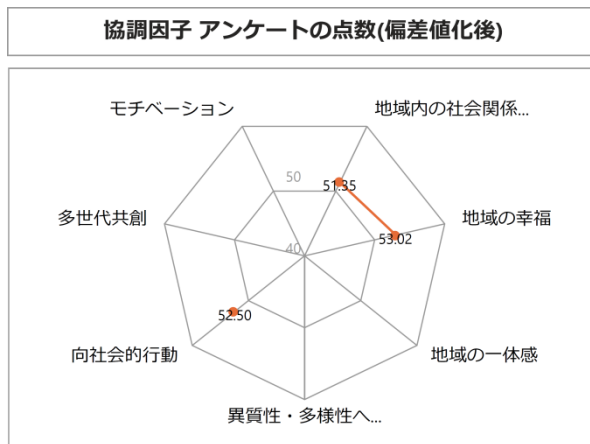
【Q5】 地域生活のWell-being指標(実数)

【設問数:全30問】



IV 協調的幸福(協調因子)①

- 「協調的幸福」は、京都大学内田由紀子教授らが開発した評価指標です。
- 地域で暮らすことで幸福が感じられ、他者と信頼関係でつながり、また、地域内で誰かの役に立つように向社会的に活動することが、「循環」するような共創的な仕組みができているか、そうした地域環境について測定するツールです。
- 地域の協調的な豊かさを、多面的・多次的に評価することで、強みや弱みを理解することができます。また、日本社会の協調的価値観に根差したツールとして開発しています。



因子名称	定義
地域内の社会関係資本	信頼、互酬性の規範、etc.
地域の幸福	個人の主観的幸福、協調的幸福感、健康
向社会的行動	地域内外の他者へのサポート、主体的な発案、地域への貢献行動

IV 協調的幸福(協調因子)②

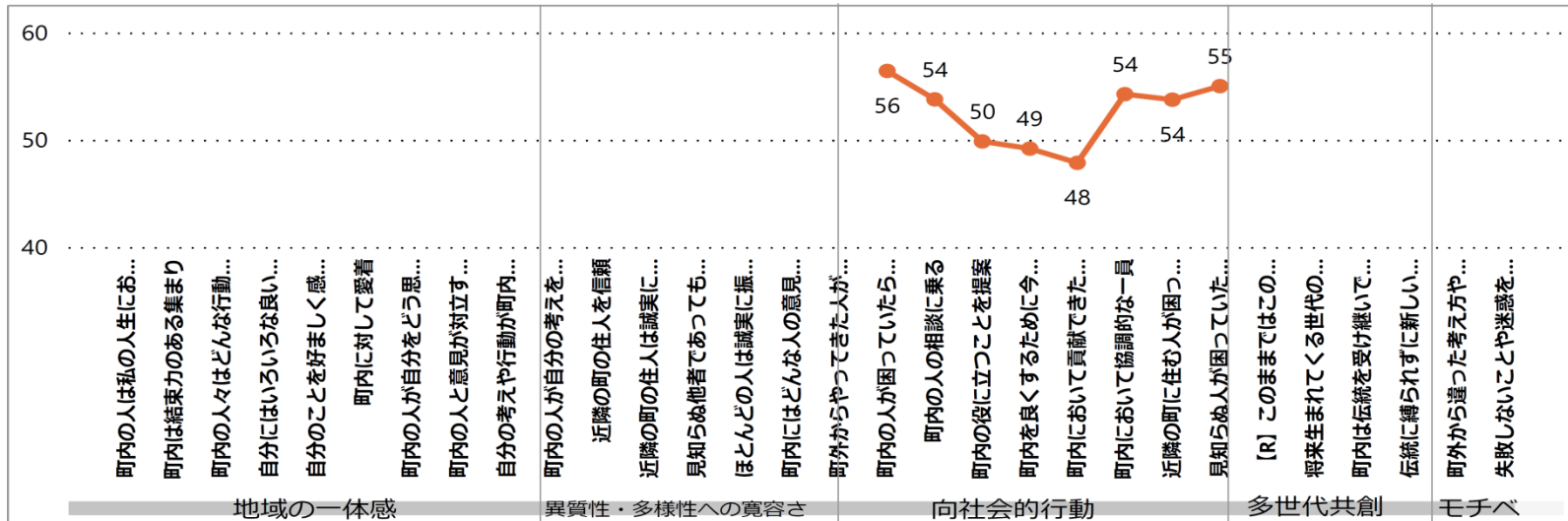
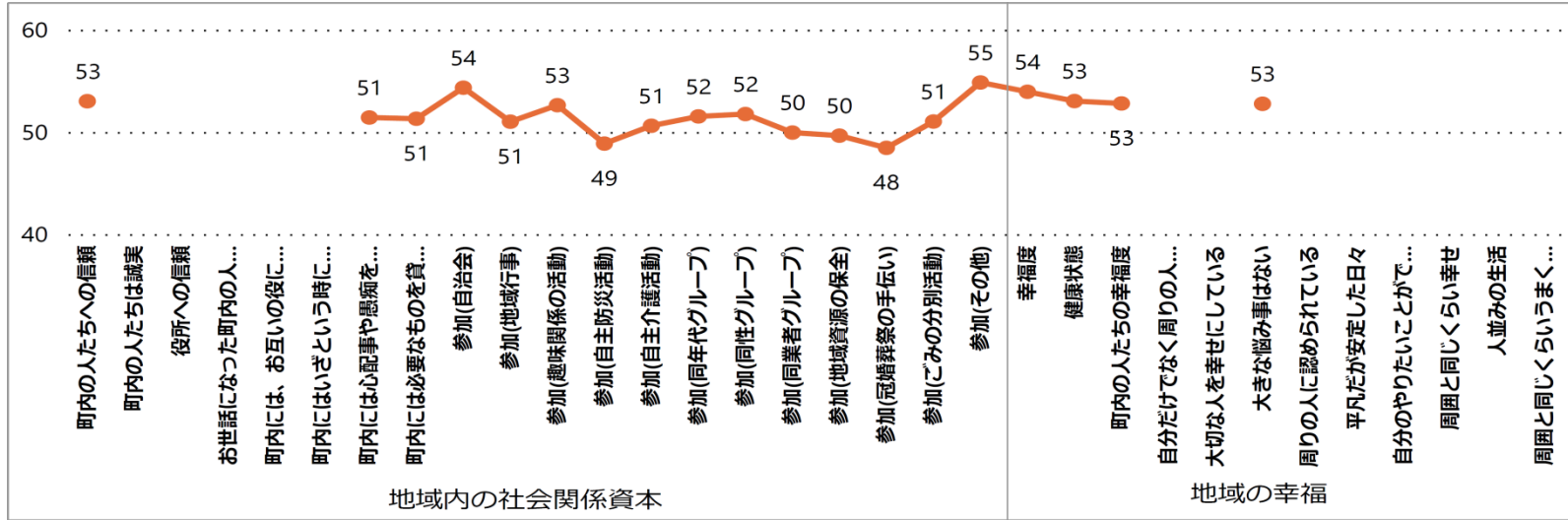
■ 協調的幸福に関する設問(全16問)

因子	設問・選択肢	因子	設問・選択肢
地域の社会的資本 生活の利便性	1 私と同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)	向社会的活動	9 町内(集落)の人が困っていたら手助けをする 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	2 町内(集落)には、私の心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)		10 必要とされれば、町内(集落)の人の相談に乗る 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	3 町内(集落)には、私に必要なものを貸してくれる人がいる 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)		11 ささいなことでも、町内(集落)の役に立つことを提案する 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	4 あなたの住んでいる町内(集落)における活動のうち、あなたが通常参加しているもの全ての番号に○をつけてください。(いくつでも) 1. 自治会 7. 同性グループの活動(例: 婦人会) 2. 地域行事 8. 同業者グループの活動 3. 趣味関係の活動 9. 地域資源の保全(河川・水路の保全など) 4. 自主防災活動 10. 冠婚葬祭の手伝い 5. 自主介護活動 11. ごみの分別活動 6. 同年代グループの活動 12. その他の活動・イベント		12 町内を良くするために、今より良いやり方を思いつく 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
地域の幸福	5 現在、あなたはどの程度幸せですか? 10(とても幸せ) —9—8—7—6—5—4—3—2—1(とても不幸)		13 町内において、役割を果たしたり貢献できたりする、活動的な一員だ 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	6 現在のあなたの健康状態はいかがですか? 10(とても幸せ) —9—8—7—6—5—4—3—2—1(とても不幸)		14 町内において、迷惑をかけたり和を乱したりしない、協調的な一員だ 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	7 あなたの町内(集落)の人々は、どれくらい幸せだと思いますか? 10(とても幸せ) —9—8—7—6—5—4—3—2—1(とても不幸)		15 近隣の町住む人が困っていたら手助けをする 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)
	8 大きな悩み事はない 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)		16 私は、見知らぬ人が困っていたら手助けをする 5(そう思う)——4——3——2——1(そう思わない)

IV 協調的幸福(協調因子)③

【Q6～Q12】 協調的幸福(偏差値化後)

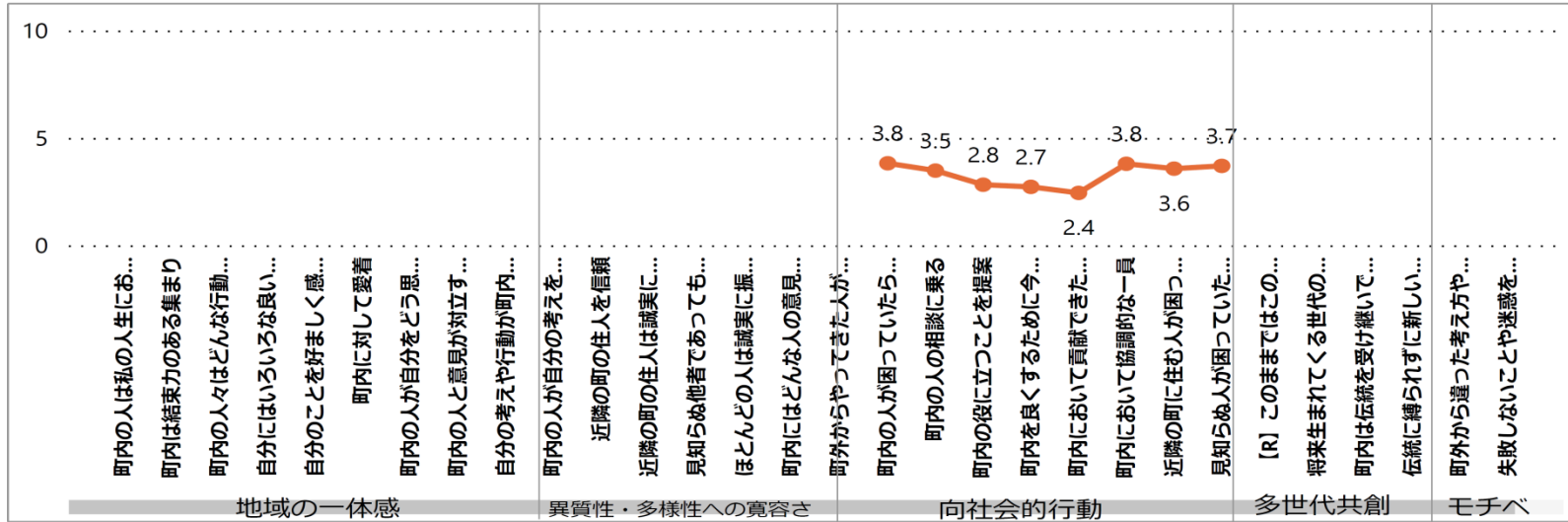
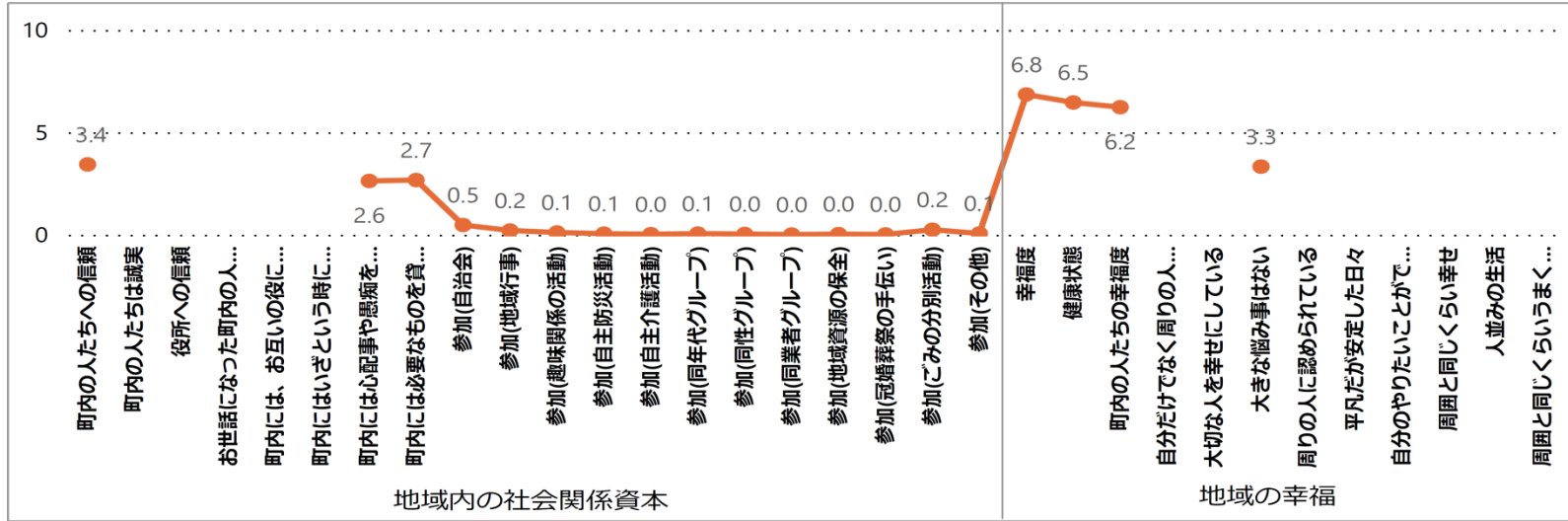
【設問数:全16問】



IV 協調的幸福(協調因子)④

【Q6～Q12】 協調的幸福(実数)

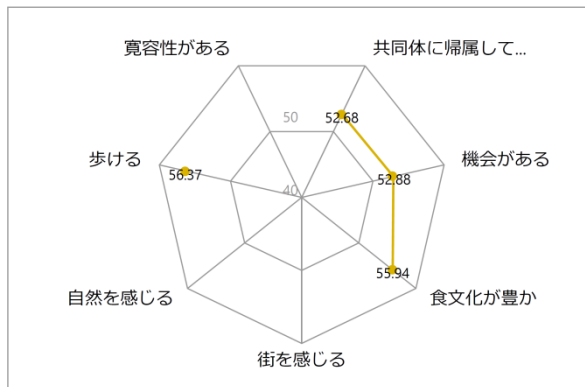
【設問数:全16問】



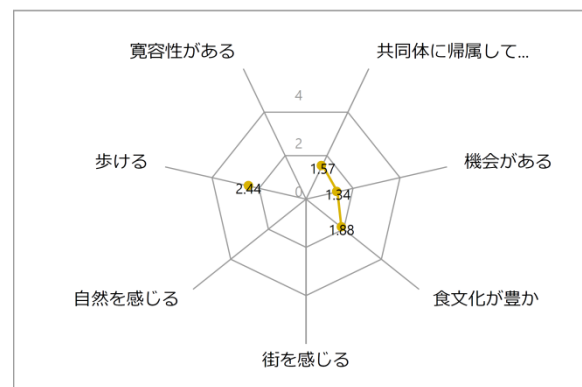
V センシユアス・シティ+寛容性①

- 「センシユアス・シティ」は、LIFULL HOME' S 総研島原万丈所長が開発した評価指標です。
- 市民の「実体験」という動詞での評価から、地域の「体験価値」都市の実相を可視化します。
- 地域を他人との関係性の指標と、体験から五感で知覚する身体性指標、寛容性の有無で計測します。

センシユアス アンケートの点数(偏差値化後)



センシユアス アンケートの点数(実数)



因子名称	定義
共同体に帰属している	このまちの一員であるという実感が持てるか
機会がある	文化的充足や経済的成功の可能性となる機会(チャンス)があるか
食文化が豊か	地産地消型食生活や観光の切り札となる食文化があるか
歩ける	まちは歩けるか、歩いていて楽しいか

出典:LWC指標活用ガイドブック(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート)

V センシュアス・シティ+寛容性②

■ センシュアス・シティ+寛容性に関する設問(全8問)

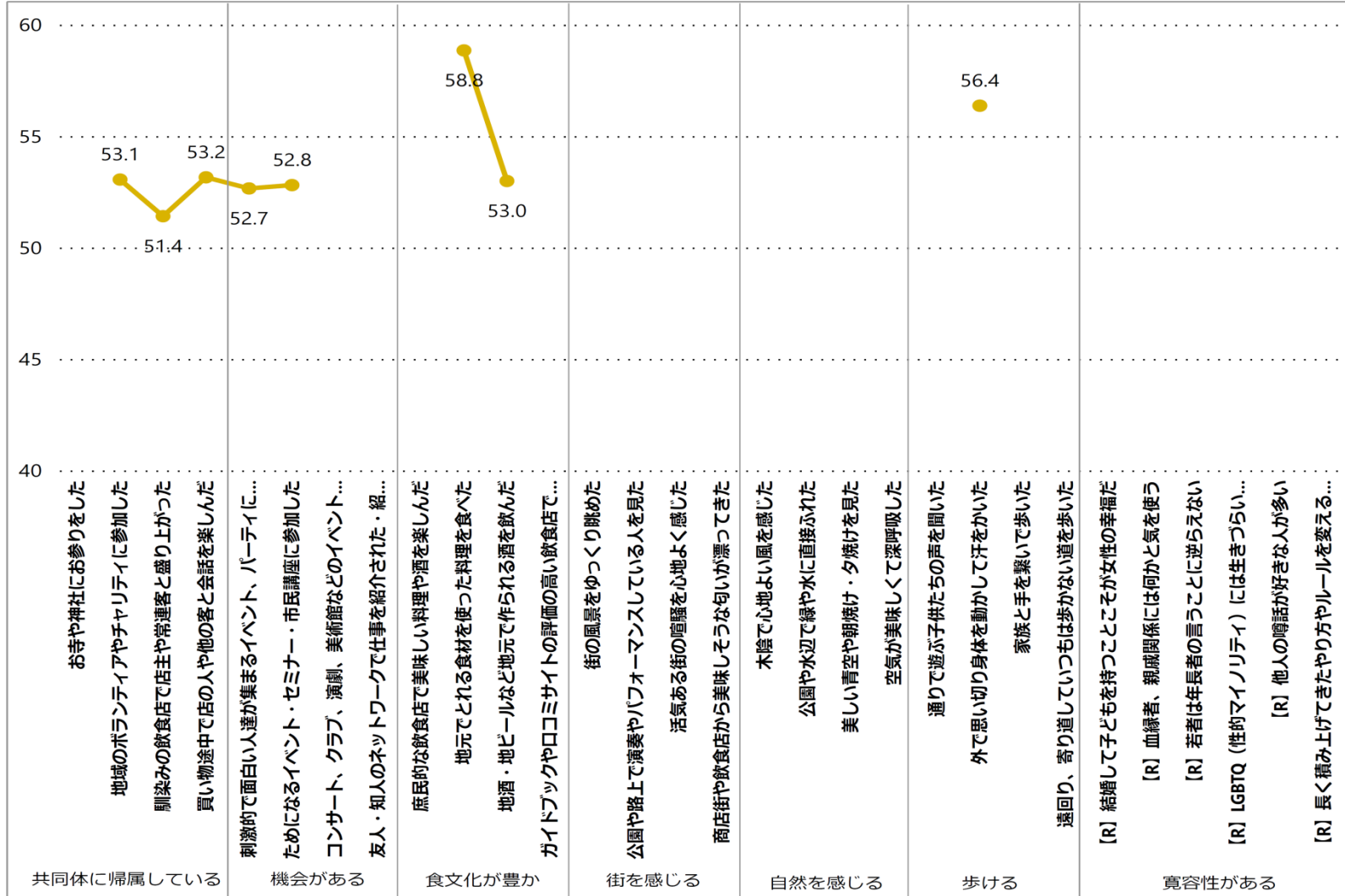
設問	選択肢
◆ 共同体に帰属している	
1 地域のボランティアやチャリティに参加した	1 2 3 4
2 馴染みの飲食店で店主や常連客と盛り上がった	1 2 3 4
3 買い物途中で店の人や他の客と会話を楽しんだ	1 2 3 4
◆ 機会がある	
4 刺激的で面白い人達が集まるイベント、パーティに参加した	1 2 3 4
5 ためになるイベント・セミナー・市民講座に参加した	1 2 3 4
◆ 食文化が豊か	
6 地元でとれる食材を使った料理を食べた	1 2 3 4
7 地酒・地ビールなど地元で作られる酒を飲んだ	1 2 3 4
◆ 歩ける	
8 外で思い切り身体を動かして汗をかいた	1 2 3 4

(選択肢:1 = しょっちゅうあった、2 = 頻繁ではないが数回あった、3 = 1~2回あった、4 = ほぼなかった)

V センシュアス・シティ+寛容性③

【Q13】 センシュアス・シティ+寛容性(偏差値化後)

【設問数:全8問】



V センシュアス・シティ+寛容性④

【Q13】 センシュアス・シティ+寛容性(偏差値化後)

【設問数:全8問】

